

第7期 決算公告

2022年7月23日

札幌市白石区東札幌五条二丁目4番30号
株式会社アインファーマシーズ
代表取締役社長 大石 美也

貸借対照表

(2022年4月30日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	31,793	流 動 負 債	71,335
現金及び預金	3,596	買掛金	37,647
売掛金	4,460	短期借入金	12,907
商品	11,319	未払金	2,342
貯蔵品	185	リース債務	15
前払費用	1,275	未払法人税等	1,767
短期貸付金	243	未払費用	1,126
未収入金	8,848	前受収益	149
未収還付消費税等	1,829	預り金	12,565
その他の流動資産	33	賞与引当金	2,240
固 定 資 産	71,044	役員賞与引当金	5
有形固定資産	22,590	契約負債	544
建物・構築物	13,779	その他の負債	22
工具・器具・備品	1,908	固 定 負 債	4,063
車両運搬具	0	長期リース債務	6
リース資産	20	資産除去債務	923
土地	5,332	預り敷金・保証金	434
建設仮勘定	1,549	退職給付引当金	2,698
無形固定資産	11,942	負 債 合 計	75,399
のれん	9,908	純 資 産 の 部	
商標権	2	株 主 資 本	27,438
借地権	395	資 本 金	100
電話加入権	95	資 本 剰 余 金	2,913
ソフトウェア	1,526	その他資本剰余金	2,913
その他の無形	13	利 益 剰 余 金	24,424
投資その他の資産	36,511	利 益 準 備 金	25
投資有価証券	100	その他利益剰余金	24,399
関係会社株式	7,362	純 資 産 合 計	27,438
出資金	4	負 債 純 資 産 合 計	102,837
長期貸付金	186		
長期前払費用	6,036		
繰延税金資産	3,887		
敷金及び保証金	17,259		
その他の投資	1,918		
貸倒引当金	△244		
資 産 合 計	102,837		

損益計算書

(2021年5月1日から)
(2022年4月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金	額
(経常損益の部)		
営業損益の部		
売上高		235,375
売上原価	203,209	
売上総利益		32,165
販売費及び一般管理費	25,145	
営業利益		7,020
営業外損益の部		
営業外収益		
受取利息・配当金	28	
コロナ助成金・給付金	123	
その他の営業外収益	406	558
営業外費用		
支払利息	65	
貸倒引当金繰入	6	
その他の営業外費用	165	236
経常利益		7,341
(特別損益の部)		
特別利益		
固定資産売却益	172	
抱合株式消滅益	170	
その他の特別利益	24	368
特別損失		
固定資産除売却損失	224	
減損損失	1,847	
解約違約金	482	
その他の特別損失	83	2,637
税引前当期純利益		5,071
法人税、住民税及び事業税		2,931
法人税等調整額		△ 579
当期純利益		2,720

注 記 表

株式会社 アインファーマシーズ

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

- ① 関係会社株式 移動平均法による原価法
- ② その他有価証券
 - ・市場価格のない株式等 移動平均法による原価法
- ③ 棚卸資産の評価基準及び評価方法
 - ・商品 主として売価還元法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）
 - ・調剤薬品 総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）
 - ・貯蔵品 最終仕入原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産（リース資産を除く） 定率法（ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）、2016年4月1日以降に取得した附属設備及び構築物については、定額法）
- ② 無形固定資産（リース資産を除く） 定額法（なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法）
- ③ リース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。
- ④ 長期前払費用 定額法

3. 引当金の計上基準

- ① 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念先債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
- ② 賞与引当金 従業員に支給する賞与に充当するため、支給見込額のうち、当事業年度に負担すべき額を計上しております。
- ③ 役員賞与引当金 役員賞与の支出に備えるため、当事業年度における支給見込額に基づき計上しております。
- ④ 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度の末日における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。
なお、退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度までの期間に帰属させる方法については給付算定式基準によっております。
過去勤務費用については、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（6年）による定率法により、翌事業年度から費用処理することとしております。

4. その他計算書類作成のための基本となる事項

消費税等の会計処理

税抜方式を採用しており、控除対象外消費税等については、当事業年度の費用として処理しております。ただし、固定資産に係る控除対象外消費税等は長期前払費用に計上し均等償却しております。

貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額	16,665百万円
(2) 関係会社に対する金銭債権、債務は次のとおりであります。	
① 短期金銭債権	12百万円
② 長期金銭債権	54百万円
③ 短期金銭債務	12,910百万円

税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(繰延税金資産)	
減価償却超過	958百万円
退職給付引当金限度超過	922百万円
賞与引当金限度超過	766百万円
契約負債	186百万円
資産除去債務	315百万円
事業譲渡に係る資産調整勘定	328百万円
未払費用	413百万円
未払事業税	112百万円
その他	184百万円
繰延税金資産小計	4,189百万円
評価性引当額	△142百万円
繰延税金資産合計	4,047百万円
(繰延税金負債)	
除去費用資産	146百万円
その他	13百万円
繰延税金負債合計	159百万円
差引：繰延税金資産純額	3,887百万円

関連当事者との取引に関する注記

(1) 親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	議決権等の被所有割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
親会社	株式会社アインホールディングス	直接 100.0	経営指導契約締結 資金の相互利用 役員の兼任	経営指導料 (注) 1.	4,035	—	—
				貸借料の支払 (注) 4.	334	—	—
				資金の返還 (注) 2.3.	3,013	短期借入金	12,907
				利息の支払 (注) 2.3.	64	—	—

(2) 役員及び個人主要株主等

該当事項はありません。

(3) 子会社等

種類	会社等の名称	議決権等の所有割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
親会社の子会社	株式会社ホールセールスターズ	なし	調剤薬品の仕入 役員の兼任	仕入 (注) 1.	19,522	買掛金	1,989

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. グループ間の仕入及び経営指導の条件等については、市場相場を参考として決定しております。
 2. グループ間の資金貸借については市場金利を参考として利率を決定しております。
 3. グループ間の資金貸借に係る取引額については、当事業年度での純増減額を記載しております。
 4. 取引金額には消費税を含めておりません。

一株当たり情報に関する注記

一株当たり純資産額	2,743,816円73銭
一株当たり当期純利益	272,045円78銭

重要な後発事象に関する注記

当社は、2022年2月18日開催の取締役会決議に基づき、親会社の株式会社アインホールディングス100%連結子会社である株式会社葵調剤を2022年5月1日付で吸収合併いたしました。

(1) 取引の概要

① 結合当事企業の名称及びその事業内容

(イ) 結合当事企業の名称

(存続会社)株式会社アインファーマシーズ

(消滅会社)株式会社葵調剤

(ロ) 事業内容

調剤薬局の運営

② 企業結合日

2022年5月1日

③ 企業結合の法的形式

当社を存続会社、株式会社葵調剤を消滅会社とする吸収合併

④ 結合後企業の名称

株式会社アインファーマシーズ

⑤ その他取引の概要に関する事項

グループ内における経営資源の集約、事業効率化を目的としております。

(2) 取引の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。